

通常の状態になっていくと思われれますので、あらためて、私が現地へ出向く出張トークの周知を図ってまいります。また、昨年4月から、SNSを開始しました。今後とも発信を続け、多くの町民や町外の皆様にも情報を届け、共有してまいります。

最後に、この項目とは少し性格が異なりますが、役場職員の副業について全道の自治体でも地域貢献を目的とした解禁の動きが活発化しています。本町においても、職員の積極的な地域貢献活動と町民との交流対話を促進するため、制度化を進めてまいります。

以上、令和5年第1回浦臼町議会定例会に臨むにあたり、基本姿勢と推進すべき主要施策を述べさせていただきます。コロナ禍と重なるように国際紛争が勃発し、世界中を混乱に巻き込む異常事態が続いていますが、どのような状況にあっても行政の使命は、町民の皆様の安心で安全な暮らしを守り、より良いものにしていくことであり、このことはいつの時代においても変わらないものではありません。今後とも山積する課題に向き合い、今この町に住む方々にとって住み良い町づくりを、そして将来にわたり持続可能な町づくりを目指し取り組んでまいります。

町議会の皆様並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。本年度の町政執行方針といたします。

# 令和5年度 教育行政 執行方針

## はじめに

令和5年第1回浦臼町議会定例会にあたり、浦臼町教育委員会が所管の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

今、社会は、人口減少社会並びにSociety5.0の到来、グローバル化の進展、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響など、急速な変化が顕現化する中、SDGs達成やゼロカーボン社会、デジタル社会の実現のための取組など、全ての子供たちの、持続可能な社会の創り手として、複雑で予測困難な時代を逞しく生き抜く力

の育成が必要となってきます。

一方、生まれ育ったふるさとへの誇りと愛着を持ち、多様性、公正や個人の尊厳、多様な幸せ等の価値に重きを置き、思いやりの心を持って、共に支え合いながら、持続可能な地域づくりを支える人を育むことが肝要であり、令和5年度から令和9年度を計画期間として、北海道が目指す教育の基本理念や教育施策の方向性、主な取組を示し、北海道教育委員会が策定する、「北海道教育推進計画」と整合性を図り、教育の充実・発展に努めてまいります。

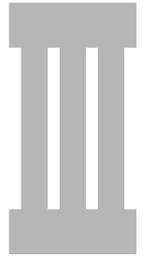
## 基本方針

まず、教育行政の執行に当たり、浦臼町教育理念「知・徳・体に調和のとれた人間形成」並びに浦臼町教育大綱に掲げる「明日を担う人を育む教育・文化のまち」の理念を踏まえ、一人一人が輝いて生き抜く力、「笑顔で生き生き学ぶ」教育の推進を引き続き基本方針といたします。



河本教育長

## 重点施策



次に、令和5年度の重点施策につきまして、「学校教育の充実」及び「社会教育の推進」の大きく二つに分けて申し上げます。

### 学校教育の充実

社会に立ち向かって  
いける力の育成  
確かな  
学力の定着

学校教育の充実の一つ目は、「社会に立ち向かっていける力の育成」、確かな学力の定着であります。

学校運営につきましては、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入6年目となり、地域の力を活用し、学校と地域が相互にパートナーとして、子供たちの成長を支え、改善・充実に努め、ICTを活用した取組等により、小規模校のメリットを最大化し、確かな力と心優しい人づくりを推進します。

また、就学援助制度、高等学校通学等支援助成、昨年度創設の高等学校通学生徒学習情報通信端末導入支援助

成、給食費の無料化等の支援を継続し、各種検定料の助成により、学びの意欲と基礎学力の向上に努めます。

ふるさと教育では、地域の施設や人材等の教育資源を活用した体験的な学習活動の促進、中学校の修学旅行をはじめとした、姉妹校、高知県本山町の嶺北中学校との様々な交流により、ふるさと意識を育む取組の推進に努めます。

教育課程につきましては、「生きる力」を支える「知・徳・体」の調和を重視し、伝統文化を尊重、ふるさとを大切にすることを育み、学習意義「何ができるようになるか」をより明確にしながら、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を地域と共有し、教科等横断的な視点に立った教育課程の編制を図り、各学校におけるカリキュラム・マネジメントの充実に努めます。

学習指導につきましては、「令和の日本型学校教育」、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを一体的に推進し、基礎知識・技能の定着に向け、一斉・授業からの脱却を目指し、主体的・対話的で深い学びの指導方法の確立、授業改善の定着を目指します。

小学校においては、学びの基礎、基本が重要であることから、さらに複式学級編制を回避するため、町独自に教諭を配置し、指導の個別化を推進し、個別最適な学びの支援を続けます。

また、学習指導要領において、「学習の基盤となる資質・能力」の一つに位置付けられた情報活用能力の育成に向けて、タブレット端末を有効活用し、ICT支援員の配置により教職員を支援し、指導体制の充実、少人数によるきめ細かな指導体制の整備、個に応じた指導の実現に努めます。

さらに、SDGsの視点に立った環境教育の推進などのESD(Education for Sustainable Development)（持続可能な開発のための教育）の推進、各教科等や「総合的な学習の時間」における教科等横断的な学習等の実践など、STEAM (Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematics) 教育の推進に努めます。

特別支援教育は、共生社会の形成に向け、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援に努めます。

小学校においては、学びの基礎、基本が重要であることから、さらに複式学級編制を回避するため、町独自に教諭を配置し、指導の個別化を推進し、個別最適な学びの支援を続けます。

また、小1プロブレム、中1ギャップの未然防止、小・中学校間の乗り入れ授業の実践や教職員の情報共有を深め、小学校における教科担任制の導入など、義務教育9年間を見通した教育課程を支える効果的な指導体制の構築を進めます。

外国語教育につきましては、引き続き、外国語指導助手（ALT）を中学校に毎年配置し、中学校英語教育の充実、小学校においては、子供たちが英語で日常的なコミュニケーションができる力を身に付けられるよう、グローバル化による急速な情報化社会で生き抜く力の育成に努めます。

### 学校教育の充実

健やかで、人の優しさ  
痛みの分かる心の育成  
豊かな心と  
健やかな体

学校教育の充実の二つ目は、健やかで、人の優しさ、痛みの分かる心の育成、豊かな心と健やかな体であります。

道徳教育につきましては、答えが一つではない課題に子供たちが道徳的に向き合い、考え、議論する道徳教育への転換により、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う教育の推進に努めます。

いじめ・不登校につきましては、望ましい人間関係を醸成し楽しい学校生活を送るため、学級集団に関する情報を分析し児童生徒の意欲や解決すべき課題を把握するアンケート「hyper・QU」によるスクリーニングを全学年で継続的に実施し、児童生徒の支援ニーズの早期把握を進め、「浦臼町いじめ防止基本方針」の周知徹底を図り関係者やスクールカウンセラーとの連携を密にし、未然防止と早期発見、組織的な支援に努めます。

また、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重する姿勢が大切であり、ICTの活用力の育成と同時に、発達段階に応じた情報モラルの指導推進に努めます。

有害情報から子供を守るために、学校・家庭・地域と連携し有害情報に対する啓発を行い、携帯電話やネットト

ラブルの根絶に向けた取組を充実してまいります。

学校保健につきましては、早寝早起き朝ごはんを推奨し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣の定着を図り、食育の推進に努めるとともに、十分な睡眠やバランスの取れた食事を心がけるなど抵抗力を高めることの重要性の普及啓発を行い、児童生徒が感染予防対策を身に付けるよう、指導を行うなど、生涯にわたって心身共に健康な生活を送るための資質・能力の育成を図ります。

また、むし歯予防のため、小学校をはじめ、認定こども園にもフッ化物洗口の有効性をPRし、普及に取り組みます。

### 学校教育の充実

**安全・安心な学校  
に信頼される  
学校づくり**

学校教育の充実の三つ目は、安全・安心な学校、信頼される学校づくりであります。

教育の成果は、直接指導する教職員  
の資質・能力によるところが大きいこ  
とから、校内研修の充実、各種研修・

研究会等への参加支援を図り、資質・能力の向上を図る一方、個人の能力のみに頼ることなく、校長のリーダーシップの下、組織的に指導内容の改善に取り組みます。

また、教職員の服務規律の徹底と規範意識の向上に努めます。

子供の安全確保につきましては、地震や台風などの自然災害から身を守るために必要な知識や能力等の育成に向け、校内対策マニュアルの確認、避難訓練や1日防災学校の実施などの防災教育の推進や事件・事故に対する危険予測、危機回避能力を身に付けさせる防犯教育を進めます。

また、登下校時及び校内の安全確保に努めるとともに、一斉メール配信システムにより、緊急時等の保護者との連絡体制を確保いたします。

学校における働き方改革につきましては、教職員が健康で働ける環境、子供と向き合う時間の確保に向けて、浦臼町立学校における働き方改革アクション・プラン、部活動の在り方に関する方針等に基づき、持続可能な学校運営体制の整備に努めるとともに、校務支援システムによる学習評価や成績処理の事務作業の負担軽減をはじめとするICTの一層の有効活用により、取

組の推進を図ります。

中学校の休日部活動の地域移行の目標が令和8年4月からとなっており、移行に向けた調査、検討を進めてまいります。

また、労働安全衛生法に基づくストレスチェックについても継続してまいります。

学習環境の整備につきましては、施設の適切な維持管理に加え、学びを止めない学習環境を推進してまいります。

### 社会教育の推進

**地域社会における  
連携と見守り  
地域における  
体制づくり**

社会教育の推進の一つ目は、「地域社会における連携と見守り」、地域における体制づくりであります。

地域の体制づくりにつきましては、小学生の安全・安心なふれあい・学びの場所として「浦臼町子ども広場」を  
通年開設し、保護者のニーズに応じた  
運営体制の充実を図ります。

また、地域、町内会等が次代を担う子供たちの健全育成を推進するための事業支援に加え、道立青少年体験活動支援施設ネイパルを活用するなど、地

域の特色を活かした多様な体験活動を推進し、これからの活動の中核となるリーダーの育成に努めてまいります。

乳幼児教育については、乳児にはブックスタート事業を継続し、読み聞かせボランティア活動への支援など子供の読書に親しむ機会の推進に努めます。

読書環境の充実につきましては、読書活動推進計画に基づき、だれもが気軽に利用できる環境改善に努め、読書離れが懸念されていることから、保護者に対しての啓発にも取り組んでまいります。

## 社会教育の推進

笑顔で生き生き  
学べる社会の実現  
生涯学習・文化・芸術の  
振興

社会教育の推進の二つ目は、笑顔で生き生き学べる社会の実現であり、人生100年時代と言われる時代において、充実した人生を送るには、地域における多様な学びの機会や個々の資質や能力を更新できる学びの場を充実させることが大切です。

文化・芸術につきましては、文化協会と協働し活動の振興に努めます。

また、町民誰もが本格的な施設環境

で行われているミュージカル等を鑑賞できるよう、町民移動芸術鑑賞会を継続するなど、芸術に触れることにより、町民の感性を高め、心豊かで潤いの持てるかおり高い文化のまちを目指します。

社会教育関係団体の多くは、高齢化などにより活動する機会の減少が進んでおりますが、自主的かつ自発的な活動の支援と、幼児、少年、成人等の各世代を対象とし、生涯学習につながるような多様な社会教育事業の実施に努めます。

また、ALTによる、小学1年生から4年生を対象とした「英語ふれあい教室」を本年度も継続いたします。

文化財につきましては、浦臼町文化財保存会の協力をいただきながら、地域における人々の生活や地域の風土により育まれ、今日まで守り伝えられてきた財産の保護・保存を行うとともに、郷土の歴史、自然・文化遺跡資源の発信に努めます。

本年度、郷土史料館にモニターを設置し、高知県立坂本龍馬記念館所蔵のデジタルコンテンツをお借りし、情報発信するサービスに取り組んでまいります。

また、アイヌ遺跡や歴史的資料の保

全・維持管理を適正に行ってまいります。

## スポーツの振興

少子化・人口減少社会に対応した活力ある生涯スポーツを目指し、誰もが参加できる楽しいスポーツのPRと場所の提供を推進し、子供から高齢者までのどなたでも笑顔で汗を流せる環境を目指し、施設の適正管理、利用率の向上に努めます。



▲英語ふれあい教室

また、近年、児童生徒の体力・運動能力の低下や運動習慣の低減が進んでいることから、「子供たちの体力向上教室」を継続し、運動習慣定着の推進を図ります。

以上、令和5年度に取り組む重点施策について申し上げます。

## むすび



まちづくりは人づくりにあることを基本姿勢として、次代を担う子供たちが、主体的に、よりよい社会と人生を自ら創り出せる力の育成と、全ての町民が笑顔で生き生き学び楽しく暮らすことのできる教育環境が重要であります。

そのために、引き続き環境整備、各種教育施策の実施に取り組んでまいります。

町民の皆様並びに議員各位のご理解ご協力を心からお願い申し上げます。令和5年度の教育行政執行方針といたします。